

Highlights of Actions in FY2023

私たちMCアグリアライアンスは、世界各地の生産者や取引先と連携し、サプライチェーン全体の様々な環境・社会課題の解決に取り組みます。生産者から生活者まで、全ての人のために豊かな社会の実現と社会の持続的な発展に貢献します。



人権デューデリジェンスの取り組み

MCアグリアライアンスでは、事業活動に関係する人権への負の影響を特定し、予防・軽減する継続的な取り組みを行う人権デューデリジェンスを実施しています。2023年度よりサプライヤー数社への実態調査に自社で取り組んでおり、生産者の状況確認・評価を行い、必要に応じて是正措置を講じています。調査対象の農家を訪問し従業員へ、管理体制・健康と安全・労働環境などについてインタビューを行いました。

2023年 調査実績例

- 生産国：ガーナ
- 監査日：2023年7月
- 生産品目：カカオ豆
- 認証：Olam社が定めるAt Source 認証※1

※1 At Source認証：当社株主のOlam社が展開する独自の認証プログラム。環境・社会・経済面を網羅した、同社独自のサステナブル調達基準に準じたサプライヤーからの調達を担保し、農家グループまでのトレーサビリティ情報や定量データが入手可能。



今回訪問した農家はOlam社の定める調達基準At Source認証を受けたカカオ豆農家です。こちらの農園ではofi社※2の農業技師が2週間に1回の頻度で農家を訪問し、同規定に基づいた活動の遵守状況を確認しています。農家が日常的に立ち寄るカカオ豆の集荷場の壁には、ofi社の看板と共に児童労働の撲滅を啓発するポスターが貼られていることが確認できました(写真：①②③)。また、ofi社の現地職員が適正農業規範(GAP)トレーニングを農家に対して実施しており、安全で適切な農作業の実施方法についても理解を深めることができるよう努めています(写真：④)。Olam社の農家向けのデジタルプラットフォームでは、農園の規模・場所や果樹(カカオの木)の本数、家族構成など、農家の情報が見える化されていることを確認できました(写真：⑤⑥)。

※2 ofi社：Olam社は、2020年にコーヒー・ココア・ナッツ・スパイスなどを手掛ける食品原材料部門を独立させofi社を設立。

当社は、今後もサプライヤーとともに持続可能なサプライチェーンの構築に取り組んで参ります。



私たちMCアグリアライアンスは、生産者の生活・労働・経済環境の改善や自然環境の保全に寄与する活動をお客様やサプライヤーと協力し実施しています。

1 コロンビア 教育機関への浄水器提供

- 生産国：コロンビア
- 生産品目：コーヒー豆

貢献する
SDGs

6

安全な水とトイレ
を世界中に



17

パートナーシップで
目標を達成しよう



コーヒー栽培に携わる農家の家族や学校は農村部に分散しており、衛生的で安全な水の確保が難しい環境です。そこでコロンビアの教育機関2拠点に5つの浄水器の提供を行いました。浄水器の設置により、12-18歳までの700人以上の生徒たちが浄水器でろ過された安全な水の飲用ができるようになりました。また導入にあたってはトレーニングを実施し、利用する生徒の懸念点などについて確認しながら設置を行いました。写真：①提供した浄水器②左、ろ過前の濁った水、右、ろ過後のクリアな水③④浄水器を提供した教育機関の子ども達

2 カカオポッド由来バイオ炭を用いた再生農業の有効性評価試験

- 生産国：ガーナ
- 生産品目：カカオ豆

貢献する
SDGs

12

つくる責任
つかう責任



13

気候変動に
具体的な対策を



17

パートナーシップで
目標を達成しよう



ガーナの農家コミュニティにおいてカカオ農家で発生する未利用副産物であるカカオポッドを焼成し、バイオ炭を製造。それをカカオ農園に散布し、土壌改良効果および脱炭素効果の評価試験を行います。実施に際しては、本邦のチョコレートメーカー複数社様の協賛、並びにバイオ炭製造設備の製造・導入実績がある本邦メーカー様より技術支援をいただく計画。業界関係者の知見を組み合わせることで本評価試験を進めることで、カカオ豆の一大産地であるガーナにおいて持続可能なカカオ栽培と農家の生産性向上策を検討します。



写真：①カカオポッド②試験的に焼成したカカオポッド③本邦大学教授の指導下ガーナの土壌分析を実施

3 胡麻農家の水環境の整備と生産指導

- 生産国：タンザニア
- 生産品目：胡麻

貢献する
SDGs

6

安全な水とトイレ
を世界中に



8

働きがいも
経済成長も



17

パートナーシップで
目標を達成しよう



タンザニアでは水不足が深刻な問題となっており、農家によっては水汲み作業に往復で半日もかけていました。そこで胡麻農家の暮らす村に井戸を設置し、生活環境の改善に取り組みました。また胡麻農家の収入向上を目的とし、サプライヤーから農家への生産指導を通して単収向上のサポートにも取り組んでいます。写真：①井戸設置前、自宅での生活用水を汲んで帰るため子ども達がタンクを持ち下校②建設された井戸③井戸から水汲みを行う様子

発行日：2024年8月